
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第28号（2017. 11. 13）

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室

多面的機能支払のメールマガジン第28号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、子供達が参加できる様々なイベントを企画し、ブログでイベント紹介をしている組織と、災害復旧に取り組む組織をご紹介します。

事務局からは、農林水産省公報誌「aff」11月号に掲載された活動組織についてご紹介します。

==== 第28号の目次 =====

1. 活動組織の活動紹介

☆河内アグリ活動組織（香川県三豊市）☆

☆阿蘇地域農地・水・環境保全組織（熊本県阿蘇市）☆

2. 広報誌「aff」で各地の取組を紹介！～境地区協議会（岡山県）～

3. 「明治150年」関連施策のご紹介

（編集後記）

=====

■ 1. 活動組織の活動紹介 ■

☆河内（こうち）アグリ活動組織（香川県三豊（みとよ）市）☆

本地区は、香川県西部にある三豊市の南西部に位置し、河内川の周辺に広がるほ場整備事業実施地区と一部未整備地区が混在した中間農業地域です。玉ねぎやブロッコリーなどの露地栽培、トマトなどのハウス栽培が盛んに行われています。

本組織では、景観形成活動として、毎年、休耕田にヒマワリなどの植え付けを行っています。植え付けたヒマワリを利用した「ヒマワリ迷路」は、地域の幼稚園や保育園との親交を深める場にもなっています。

また、「希少種が生育・生息できるような環境づくり」を目標に、地域の子供達と一緒に、農地や水路に生息するドジョウなどの生き物調査や、休耕田を活用したドジョウ池の造成を行っています。ドジョウ池では、ドジョウの

放流や幼稚園児による「どろんこ遊び」などのイベントを開催し、ドジョウの生息数の増加と地域内の交流や活性化に取り組んでいます。このような活動の結果、子供達が地域環境に関心を持ち始めるなど、地域の環境保全活動が積極的に行われるようになりました。

さらに本組織では、近隣の保育園、幼稚園、小学校の子供達の農業体験活動を通じて、農業による地域興しに積極的に関わっています。

「ヒマワリ迷路」や「どろんこ遊び」をはじめとするいろいろなイベント日程はブログで紹介し、地域住民へ参加を呼びかけています。ブログは以下の URL よりご覧ください。

◎河内アグリ活動組織ブログ

<http://koutiagry.ashita-sanuki.jp/>

◎みとよ HOT ほっと NEWS「ひまわりと福まきを楽しむ」（平成 28 年度の話）
（香川県三豊市 HP）

http://www.city.mitoyo.lg.jp/forms/info/info.aspx?info_id=11928

◎みとよ HOT ほっと NEWS「どろんこで大はしゃぎ！」（平成 27 年度の話）（香川県三豊市 HP）

http://www.city.mitoyo.lg.jp/forms/info/info.aspx?info_id=11022

【河内アグリ活動組織 代表 石田昇】

☆阿蘇地域農地・水・環境保全組織（熊本県阿蘇市）☆

当組織は、熊本県の北東部に位置し、阿蘇山を南に望み周囲を外輪山に囲まれた、標高約 500m の高原盆地にある水田地帯で、地域資源の維持管理や環境保全などの活動に取り組んでいます。

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震の被害は甚大で、農地の亀裂や農道のひび割れ・段差、水路のゆがみ・側壁部の倒壊・目地部のずれなどが数えきれないほど多く発生しました。災害復旧事業を待っているだけでは田植えに間に合わないと判断したため、本交付金を活用して自主施工による応急措置に取り組みました。

沈下した水路側壁に土のうを積んで漏水を防いだり、水路の開いた目地部にセメントを詰めたりしました。また、排水路側壁が倒壊している場所では、二次災害防止のため、水が流れるように壊れた側壁を撤去しました。特にパイプラインの復旧は、土中で見えない施設なので苦労しました。

早期の応急措置に多くの方が一丸となって取り組んだ結果、被害が大きかった一部の農地を除き、5 月の田植えに間に合わせる事ができました。改めて人とのつながりの大切さや、本交付金の必要性やありがたさを感じました。今後も多面的機能支払交付金を有効に活用して様々な活動に取り組みたいと思います。

【阿蘇地域農地・水・環境保全組織 事務局長 吉田茂成】

■ 2. 広報誌「aff」で各地の取組を紹介！～境地区協議会（岡山県）～ ■

農林水産省が発刊する広報誌「aff」の「MAFF TOPICS」のコーナーで、本交付金に関わる各地の取組を紹介しています。

Aff11月号では、岡山県美咲（みさき）町で棚田の保全活動に取り組む「境地区協議会」を紹介しています。

活動組織により保全された棚田で栽培される「赤そば」の美しい景観を見に、多くの観光客が訪れるようになりました。取組の詳細は aff をご覧ください！

© aff11月号（農林水産省 HP）

http://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1711/mf_topics02.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 3. 「明治 150 年」関連施策のご紹介！ ■

平成 30 年（2018 年）は、明治元年（1868 年）から起算して満 150 年に当たります。政府では、内閣官房副長官を議長とする「「明治 150 年」関連施策各府省連絡会議」を設け、「明治以降の歩みを次世代に遺す施策」、「明治の精神に学び、さらに飛躍する国へ向けた施策」、「明治 150 年に向けた機運を高めていく施策」の 3 つを柱として、政府一体となって「明治 150 年」関連施策を推進しているところです。国だけでなく、地方公共団体や民間も含めて、日本各地で、「明治 150 年」に関連する多様な取組が推進されるよう、ロゴマークの使用促進や広報などを通じて、「明治 150 年」に向けた機運の醸成を図っています。詳しくは以下のホームページをご覧ください。

© 明治 150 年ポータルサイト（内閣官房 HP）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/meiji150/portal/>

【内閣官房「明治 150 年」関連施策推進室】

■ 編集後記 ■

すっかり秋めいて紅葉狩りのシーズンですね！全国各地の紅葉の様子の写真が SNS に投稿されていて、それをチェックすれば絶好のタイミングで紅葉狩りができることに気づきました。毎年タイミングを逃したまま冬を迎えてしまうので、今年こそは SNS を活用して紅葉狩りに行こうと考えています。紅葉狩りも兼ねて、前回見ることの出来なかった富士山を見るべく箱根に出かけようと考えていますが（25 号の編集後記をご覧ください）、晴れてくれることを願うばかりです…。

◇平成 29 年度多面的機能支払交付金のあらましは、こちらからご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は、以下のサイトから手続きをお願いいたします。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

なお、手続きには、パスワードが必要です。お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇バックナンバー◇

過去に配信したメールマガジンの閲覧はこちらから

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております。

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：横田）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
